

## 全校集会で、将来の夢を持つことの大切さを確認しました。

6月3日（月）に全校集会を行いました。「皆さんは、自分の将来に夢を持っていますか？」の質問に、多くの子どもたちが手を挙げる事ができていました。しかし、中には、手を挙げていない子どもたちもいました。そこで、NHKニュースで紹介された宮崎の小学1年生の「ぼくのゆめ」という作文を紹介。子どもたちは、人の役にたつために夢を描く姿を感じることができていました。



また、その日の午後には、校内研修を行い、学習環境づくりの打合せとキャリア教育推進のための協議を行いました。子どもたちが、将来の夢を描き、日々の学校生活を有意義に過ごせるための「生活・学び方のアンケート」について検討しました。

友達の良いところに気づいたり働きかけたりする力、コミュニケーション力、自己の役割の理解、前向きに考える力や課題発見力、学ぶこと、働くことの意義などについて、子どもたちに振り返りさせながら、学習を進めていきます。

## 芋の苗植えをしました。大田黒さんありがとうございました。

6月3日（月）2校時に、全校で芋の苗植えを行いました。体験活動応援団の代表である大田黒裕樹さんをお迎えし、ご指導していただきました。茎から芽が出てくること。実を上手につけさせるには、斜めに植えること。風が強いので、苗を植える向きは風上に向けることなど教えていただき、みんなで植えました。大田黒さん、ありがとうございました。収穫が楽しみです。



# 5年生で、水俣に学ぶ肥後っ子教室を行いました。



6月5日（水）に、5年生で、水俣へ出かけて、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を行いました。

大津南小学校の5年生と一緒に行きました。エコパーク水俣埋め立て地見学、水俣病資料館見学、地球温暖化問題、水俣病語り部さんの講話等の学習を行うことができました。天候にもめぐまれて充実した学習ができました。



大津南小学校の5年生と一緒に学習しました。班別に分かれて、一緒にグループ活動をしました。

エコパーク水俣では、水銀に汚染された魚や土地が埋め立てられてエコパークが作られ、今はとてもきれいな海が蘇っていることなどを学びました。

子どもたちは、実際に海水をすくったりして、きれいな海を実感できました。慰霊碑もできていました。



水俣病語り部さんの講話では、滝下さんの講話を聞くことができました。自分が魚を食べての発症ではなくてお母さんのおなかの中で感染していたということでした。小学生のとき、病気のことで悪口を言われ、その友達に言い返したこと、それを聞いたその友達のお母さんとのやりとり。その結果、相手から謝罪があり、仲直りできたことなどをお話ししていただきました。聞いていた子どもたちも、真剣に学ぶことができました。

## 家庭から出る水の汚れ、実験で確かめよう

水俣の環境センターでは、地球温暖化問題についての学習を行いました。講師のお話のあと、実際に実験してみました。

台所排水（米のとぎ汁とみそ汁）、洗たく排水、ふろの排水の4つについて、パックテストを行いました。それぞれに溶液を入れることによる色の変化で、どれだけ汚れているかを測るテストです。子どもたちは、真剣に取り組み、台所排水が、一番汚れていることを実感しました。

